

プロジェクト名	実践女子大学食の風景プロジェクト
研究所名	食の風景プロジェクト研究所(所長 木川眞美 専任講師)
設置開始	2011.7.20
設置終了	2013.3.31

■研究の進捗状況(研究員の活動実績含む)

23年度は食の記録として貴重な浮世絵2点を入手した。

- ① (7)清信 三条勘太郎の伽羅の油売 タイトルはこのようになっているが、「歌舞伎役者の中村吉兵衛が舞台上で演じた千年飴売りを描いたもので、現在の千歳飴である。
 - ② 南京人の絵 となっているが、描かれている人物は中国風の服を着ているが、足には脚絆を巻き、草履を履いており日本人であることがわかる。たんきり(痰切り飴)の行商を中国人風の恰好をして行っていたことがうかがえる。
 - ③ 報状は貼り込み帳などに多く集められており、当時も多くの種類の料理や外食店のものを見ることができ。これ入手、あるいは、国会図書館の収蔵品を複写し、デジタル化しているところである。これを料理や外食店ごとに分類する。
- 24年度の展示会のために資料の分析を行っているところである。

■現在までの達成度

23年度は、昨年までに入手していた鍬形惠齋の版木とその書画を展示した。惠齋の版木はフランスと日本にしかなく、日本では実践女子学園だけが持っているとなるよう、残りのコレクションを手に入れたい。よって、これ入手できれば、資料の収集からいえば、かなりの達成度になる。

研究の進捗状況に書いた通り、分析、分類が終われば24年度の展示会に向けて脚注など作成する作業に移る。よって、すべての研究を見渡すと、達成度は50%位となる。

■次年度以降の研究(見込み)

24年度は、これまで収集した版木、浮世絵、報状を分析し、展示会にて、成果を発表する。昨年度の展示会よりも、系統的に整理された展示会になる。また、文化、文芸と食の融合についてまとめができると思われる。さらには、研究を成果集にできるよう努力したい。

■代表的な研究成果(雑誌、学会発表、図書等)

23年11月に展示会をおこなった。

展示会の来館者は右記のとおり。→学内57名、一般110名 合計167名